



「和解の務め」音信

Reconciliation Ministry in South Africa

(23-2)

May. 2023

金煥・朴貞玉

「神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました」(Ⅱコリント 5:18)

今、日本は美しい5月を迎え、神の恩寵を満喫しているのではないのでしょうか。宣教同労者の皆さまに、南アフリカの地から、主イエス・キリストの御名で平安の挨拶を申し上げます。

1. 新しい生活セミナー開催

4月3日から22日まで、「新しい生活セミナー」(New Life Seminar)を開催しました。男性青年たちのみで3週間、宣教農場ベツシャロムで共同生活をしながらセミナーを進めました。色々な地域から7人の青年たちが集まり、午前中は学び、午後は農場での作業、夜は分かち合いの時を持ちました。

セミナーの内容は、聖書の権威・「イエスは主であり、神であられる」、聖書の基本的な教え・使徒信条、人間生活のための根本的な原理・十戒、結婚と家庭の大切さ、キリスト者の文化的使命、神と共に歩むデボーションの仕方などでした。

講師は私を含め4人でした。アウトリーチやアパルトヘイト記念館訪問。最後の夜、バーベキューの後、夜遅くまで続けられたキャンプファイアー。その時、参加者たちから感動的な証しと決心を聞くことができ、セミナーを開催して本当に良かったと思えました。9月には女性青年たちのためのセミナーを、ぜひ開きたいという思いがはつきりと心を与えられました。



2. 韓国、アメリカ、日本への訪問予定

コロナ故に開かれなかったパウロ宣教会の全体修養会が久しぶりに韓国で行われるようになりました。それで私たち夫婦は、6月から7月末まで韓国と日本を訪問する予定です。6月5日にヨハネスブルグを出発し、6日から暫く韓国に滞在します。その後、私一人で宣教報告などのために10日から20日までアメリカを訪ねます。

そして26日から7月7日まで日本を訪問します。その後また韓国に戻り、修養会などに参加し、7月25日には南アフリカに戻る予定です。まるで地球を一巡するような旅程ですが、主が守って下さり、祝福してくださいることを祈るばかりです。久しぶりに会える同労者たちとの再会や、家族、親友との懐かしい交わりを期待しつつ、胸がドキドキしております。

その間、宣教館は知り合いの宣教師に、宣教農場はマジヨラ牧師に任せる予定ですが、神の特別な守りが必要であることは言うまでもありません。とりなしの祈りを宜しく願います。

3. 祈祷課題

- ① 男性青年セミナーが祝福されたことに感謝。女性青年セミナーの準備と実行のために。
- ② 旅行が守られ、祝福されるように。
- ③ 不在中、宣教館、宣教農場が守られるように。
- ④ パウロ宣教会の全体修養会が恵みの内に行われ、宣教師たちが豊かに恵まれ、霊的に整えられるように。

皆さまのご健康と平安をお祈りいたします。

和解の務め支援会を通して、ご支援よろしくお願います。

